

成果指標				
成果指標	国民健康保険税収納率			
指標設定の考え方	自主財源確保の観点から、現年分・滞納繰越分を併せた収納率を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目 標	0.8445	0.85	0	0
実 績	0.835	0.8402	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>税負担の公平性を保ち、納税者からの信頼を高めるとともに税収の確保を図るため、滞納者個々の滞納原因等の状況を把握して納付指導を強化するとともに、税収確保重点期間を設けるなどして、徹底した財産調査及び積極的な滞納処分の実施を継続する必要がある。また、納税者の利便性と収納率・納期内納付率の向上を図るため、口座振替制度を一層推進するとともに、平成28年10月からのコンビニ収納の本格稼動にむけてシステム環境整備等の準備を進めている。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>国民健康保険制度は、全体の医療費等に対して公費を差し引いた残りを税でまかないます。近年この医療費が増加傾向のため、毎年のように税率が上がり、収納率にも影響がでてきておりますが、税負担の公平性を保ち、納税者からの信頼を高めることは重要なことであり、引き続き滞納者個々に納付指導を行い、徹底した滞納整理を行わなければならない。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題